

5月21・22日開催 市政調査会(各区調査)の報告

市政調査会では、広大な市域を有する奥州市の均衡ある発展を推進するため、各区の問題点を明確化させるとともに、議会としての共通認識のもとに、その解決に向けた方向性を導き出すことを目的に、5つのグループに分かれ、各区の状況を調査、検討することにしました。

具体的な
内容は?

- ①各区の施設の視察
- ②各総合支所の行政執行状況について
- ③公共的団体との意見交換会

※グループ編成は下記のとおり ◎グループ長 ○副グループ長

A【教育系】	◎佐藤 克夫○三宅 正克・千葉 正文・小野寺 重・藤田 慶則 龜梨 恒男・千田美津子・廣野 雅昭・渡辺 忠
B【総務系】	◎渡辺 明美○内田 和良・菅原 明・及川 俊行・千葉 悟郎 及川 梅男・小沢 昌記・数江與志元
C【福祉系】	◎関 笹子○石川 和好・佐々木國男・佐藤 邦夫・菅野 市夫 佐藤 修孝・安部 皓三・高橋 瑞男
D【産業系】	◎佐藤 建樹○中西 秀俊・菅原 哲・菅原今朝男・菊池 嘉穂 安倍 静夫・小野 幸宣
E【建設・まちづくり系】	◎高橋 勝司○今野 裕文・阿部加代子・中澤 俊明・佐藤 純哉 遠藤 敏・新田 久治・及川 善男

公共的団体等との懇談会

芸術文化協会は、昨年4月に合併、支援体制が課題であり、活動助成なり、装具の助成が必要とのこと。人形劇サークルたんぽぽは会員10名で幼稚園、老人ホーム等に訪問、今年で20年になり、人形劇のほか紙芝居もやっている。遠くへ行くとき、バス等市の車を借りれないかとのこと。教育振興運動は、各集落ごとに実践班をもうけ、子供会、老人クラブ、行政区長との連携で行つております。

行政執行状況等説明及び懇談会

現状を観察した胆沢第一小学校は、耐震補強工事のための実施設計工事を予定。工事まで着手できればと考えているとのこと。市民手づくりの奥州胆沢劇場については、前沢劇場もあるので、あり方について今後検討。文化創造センターでは、備品等の計画的な更新が必要。南都田中学校は全6クラス、昨年度より14名増の157名の生徒数ですが、部活において県下に名立たるソフトテニスの部員の減少が懸念されることがあります。

胆沢第一小学校は校舎と校舎の間に段差があつたり、床下に雨水がたまる、校舎の中が暗いという課題。保育園は園児の増加により、園庭がせまいという課題がありました。



胆沢第一小学校

A グループ IN 胆沢区
教育系

○ 行政区長協議会：30行政区合併後、行政支援が減額された。在京ふるさと会参加人数減となる。

○ 納税貯蓄組合連合会：奨励金の削減等の理由により一組合が解散。納付率を高めるため納税組合を従来どおりに活用するよう見直しすべきとの意見あり、又、滞納者が増えない対策として個人情報の見直しが必要等進言あり。

○ 女性の会：胆沢病院産婦人科廃止とならないようとの強い要望があつた。女性六団体の交流を図るべく事業を企画しているが、行政からの財政支援を要望される。

○ 総括的：合併による統一化も大切であるが、各区の特性を活かし、残すこと必要と感じた。在京ふるさと会への対応支援は、今後も継続すべきであると思われる。

○ 女性の会：胆沢病院産婦人科廃止とならないようとの強い要望があつた。女性六団体の交流を図るべく事業を企画しているが、行政からの財政支援を要望される。

○ 総括的：合併による統一化も大切であるが、各区の特性を活かし、残すこと必要と感じた。在京ふるさと会への対応支援は、今後も継続すべきであると思われる。

○ 女性の会：胆沢病院産婦人科廃止とならないようとの強い要望があつた。女性六団体の交流を図るべく事業を企画しているが、行政からの財政支援を要望される。

○ 総括的：合併による統一化も大切であるが、各区の特性を活かし、残すこと必要と感じた。在京ふるさと会への対応支援は、今後も継続すべきであると思われる。

B グループ IN 衣川区
総務系